



Voice Report



「従業員の意識改革で地域の健康増進」を健康経営で実現する
安心と笑顔の快適健康家族のパートナー



代表取締役社長 酒井 啓充氏

共栄薬品 <http://www.kyoei-medice.jp/>

- 本社所在地 岩手県盛岡市津志田
- 主な事業内容 配置薬・フィットネス関連事業
- 従業員数 67名
- **健康経営優良法人 2020 認定**
- **いわて健康経営認定事業所 2020**

大切な社員が健康であり続けるために

創業60年、健康産業の置き薬を営み地域の皆様へ健康情報提供をしております。
現在はカーブス、ゴルフパートナー、ベンリーの運営も始め地域密着の快適健康サポートの活動拡大をしています。
健康づくりに取り組んだきっかけは、従業員の長期雇用による平均年齢の上昇、健康診断の数値の変化、軽い体調不良の従業員もでていたため、健康づくりに取り組んでいこうと思いました。

従業員からのヒアリングを大切に

従業員に簡単な健康アンケートを実施、健康経営の目的を周知双方が理解したうえで健康経営の推進を行うことを基本大切にしています。
取り組み導入は今できることから丁寧に実施し少しずつできることを増やしています。

- ①健康診断の実施
- ②生活習慣改善を支援
- ③検査・治療の推奨
- ④独自のカードを利用しスモールチェンジ活動の推奨
- ⑤3分30秒のできるラジオ体操の導入
- ⑥インフルエンザ予防接種補助金制度

健康づくりは小さいことからコツコツと

従業員の出来ることを把握し健康づくりを推進しています。
中でも従業員独自で仕組を考えたスモールチェンジ活動は、カードにすることで可視化。自分自身で振り返ることができる仕組みになっています。
一人一人が2か月ごとに運動と食事面の目標を記入し、達成に向けた取り組み状況を職場で定期的にチェックできることで活動継続の意欲を引き出し継続は力なり！で従業員の健康数値変化、生活行動変化も見られるようになりました。

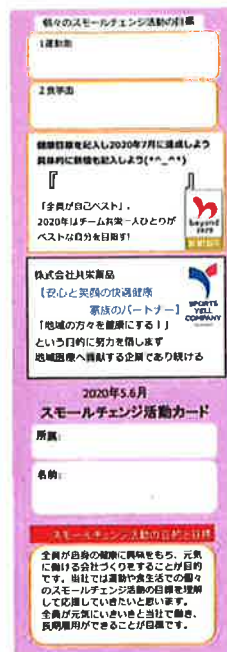
問合せ先・担当者

従業員の健康は会社の健康、そして地域の健康へ

働き盛りである従業員の健康意識は低いとの統計もあり、企業が積極的に健康経営を推進することにより、従業員の健康意識を高めることはとても重要なことの一つと考えています。
自身で自身の健康に対する意識を高めることが出来る習慣を学習する機会を職場で与えることにより、健康寿命をのばし医療費の削減、地域の健康増進を図ることが出来るかと考えています。

今後の展望

健康企画の創出しやすい環境提供、長期雇用の実現。メンタルヘルスによる離職者ゼロ。
従業員の健康把握をすることによりパフォーマンスを最大限引き出すことができ業務生産性向上。
魅力ある会社づくりの一環として健康経営をすることで、地域の健康も守り走り続けます。



「健康増進！ボウリング大会」

従業員全員に配布。
健康づくりに取り組んでいます！

AXA-C-200717-8